

令和4年度東京都予算編成等に向けた企画提案書の手交について

当財団は、東京の観光推進機関として、東京の観光振興に係る現状分析と課題、並びに新型コロナウイルス感染症拡大からのリカバリーにおいて必要な観光振興施策・事業について、下記のとおり、東京都産業労働局観光部に対して企画提案書を提出しました。

提案内容は、新型コロナウイルス感染症が観光産業に与えている影響や必要とされている支援策等の把握を行うために令和3年5月に財団が実施した、財団賛助会員及び都内観光協会向けアンケートの結果も踏まえて検討を行いました。ご協力くださった賛助会員及び観光協会の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

記

1 企画提案書手交式の日時・場所

日時 令和3年7月5日（月曜日）

場所 東京都庁第一本庁舎内

2 出席者

都： 東京都産業労働局観光部長、観光振興担当部長、観光部企画課長

財団： 専務理事（事務局長）、常務理事（総務部長）、総務部次長兼企画調査担当課長

3 手交式の概要

財団専務理事の挨拶及び企画提案書の概要説明を行った後、出席者による意見交換を実施した。意見交換においては、観光業界の現状と、今後も都と財団とで連携してコロナ禍からのリカバリーに向けた取組を検討・実施していくことについて、認識を共有した。

4 企画提案書の概要

(1) 現状分析から紐解く今後の方向性／財団賛助会員等からの声

○旅行需要予測：

【国内】ワクチン接種の進行とともに高まり、消費活動も活発化

【海外】回復時期は2023～2024年頃

⇒・新たなトレンドをつかみ、好機を逃すことなく都内・首都圏から効果的な誘客施策が必要

・海外旅行需要回復の高まりとともに世界的な誘客競争が激化すると見込まれるため、東京への関心のつなぎ止めが必須

・今後の海外旅行需要回復を見据え、都内観光事業者とも連携し、世界的な誘客競争に勝ち抜く施策を実施する必要

○財団賛助会員・都内観光協会が財団に期待すること（アンケート結果より）：

・国内旅行活性化を望む声があるが、インバウンド再開への期待も高い

- ・海外からの旅行者・ビジネスイベント誘致…商談会機会の創出、東京の安全性を含めた継続的な情報発信・PR、海外旅行再開を見据えたPR活動を期待
- ・地域の観光振興…地域・自治体との連携を期待
- ・都内観光協会の課題の多くが人材不足(商品開発・IT・イベント実施・ガイド等)と財源確保⇒各種支援や情報発信等を期待

(2) 提案における着眼点

- ・需要回復の加速と観光関連事業者支援のための国内観光キャンペーン
- ・回復期のターゲットに向けた受入環境の整備及び情報発信
- ・アフターコロナの旅行者ニーズや観光トレンドに合わせた快適な滞在環境の整備
- ・アフターコロナの安全・安心なビジネスイベントの開催に向けた事業者支援
- ・コロナ禍を契機とした観光案内・ビジネスイベントの開催環境のDX推進
- ・デジタルを活用した地域との連携強化
- ・「持続可能な観光」の推進・浸透のための様々なアプローチ
- ・ビジネスイベントにおけるSDGsの更なる推進
- ・地域にコミットした観光・ビジネスイベント振興の一層の推進
- ・地域との連携強化
- ・東京2020大会後のボランティアの在り方

担当

総務部総務課 杉浦・山村